



外科 診療部長
向坂 英樹さん

外科チームの連携で一人一人に見合った対応

最新の知識と技術で治療法を提案

現在行っている消化器系手術の多くは、最新の腹腔鏡手術システムを導入しています。同手術は、5~12cm程度の切開で済むため、開腹手術より術後の回復が早いです。体の負担も少なく、丁寧に安全な手術が可能なので、高齢者にも積極的に行っています。

また、乳腺センターでは、乳がんをはじめとする乳腺のさまざまな病気に対応。診断から手術まで一貫した治療を受けていただけます。

医師は積極的に学会などにも参加し、最新の情報や技術を取り入れています。毎週、外科ではカンファレンス(会議)



を開催。医師や看護師をはじめ全スタッフで患者さんの症状を診て、根拠のつとりに治療方針を決定しています。

今後も連携を強化し、患者さん一人一人に最適な方法で対応します。

耳鼻咽喉科にナビゲーション手術システムを導入

器材と環境を整備し体制を強化

耳鼻咽喉科は外来診療に加え、2年前から手術対応を開始。それに併せて「ナビゲーション手術システム」を導入しました。同システムはCTに画像を3D表示させる機能などを搭載。鼻の病気で最も



多い「慢性副鼻腔炎」や、難病指定の「好酸球性副鼻腔炎」などの手術を、安全・確実に行うことができます。

また、2年4月から常勤医が3人になり、外来を2診体制で回せるようになりました。さまざまな疾患に対応できるように器材の整備や、動線などを考えた診察室のレイアウト変更も行いました。

医師3人は皆若く、より良い治療をするために何ができるかを柔軟に考え、実践していく姿勢を持っていることが強みです。市内外から求められる耳鼻咽喉科になるよう、診療体制をさらに充実させていきたいです。



耳鼻咽喉科 医長
橋本 健吾さん

近年要望の多い無痛分娩にも対応

患者のニーズに合わせた医療

当院は婦人科(婦人科系疾患の診断や治療、手術)と産科の両輪で、幅広く対応しています。産科では、無痛分娩にも対応。現在、近隣で対応しているのは当院のみです。そのため、市外在住の人や、里帰り出産で帰ってくる人が、無痛分娩を希望され、当院を選ばれる場合も多くなります。

新病院の産婦人科では、常勤医が現在の2人から6人体制になります。市外からもアクセスしやすい場所になるので、出産や手術を希望される人がより多くなるでしょう。

今後、さらに需要が高まってくる不妊



治療については、女性だけでなく男性にも対応できるようになります。

患者さんのニーズに合わせて、最善の医療を届けていけるよう、引き続き努めていきます。



産婦人科 主任診療部長
藤井 光久さん

市立川西病院の今

チーム医療で患者を支える

診療体制がさらに充実

新病院の開院に向けた準備も進める

問い合わせ 病院改革推進課 ☎072(740)1136

長年、市や近隣地区の公的医療を担ってきた市立川西病院は、協立病院と統合し、4年9月にキセラ川西(火打1丁目)内にできる「川西市立総合医療センター」へ移転。今後も地域の核となって高度な医療を担っていきます。ここでは、医療の現状や市立川西病院の今後について、医師に話を聞きました。

積極的な患者の受け入れ

4月から、市立川西病院の診療体制を一部変更しました。

耳鼻咽喉科と産婦人科の常勤医を1人ずつ増員。診断や治療が今まで以上にスピーディーに対応できるようになりました。

外科では、内視鏡技術認定医を中心に、胃がんや肝胆膵領域など消化器系の手術が充実しています。

また、乳腺センターでは、最新の超音波システムを導入しました。同時に診察室をスタッフで改装。安心して診察を受けていただけるよう快適な空間になりました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大期には、全診療科のスタッフで対応。入院患者の受け入れも積極的に、市や近隣の医療を支えました。

地域医療の要として役割を果たす

引き続き、地域医療の要としての役割を果たせるよう、市医師会や他の医療施設と連携していきます。

受診・検診離れが深刻化

同感染症の影響で、顕著となっている受診・検診離れ。通常よりも、病状が進行した状態で来院する人が増えています。

自覚症状が出るころには病状はかなり進行しています。検査を受けないことに

よる病気のリスクは、病院を受診する際の感染リスクよりもはるかに高いです。当院は感染症対策を万全に行っていますので、安心して来院してください。

4年9月に新病院へ

4年9月、当院はキセラ川西地区に移転します。現在、開院に向けた準備を進めています。

当院の強みは、全てのスタッフが協働し、それぞれの専門性を発揮しながら患者さんをサポートできる体制が整っていること。今後も「チーム医療」をより意識し、患者さんに向き合っています。

病院長 土居 貞幸さん

